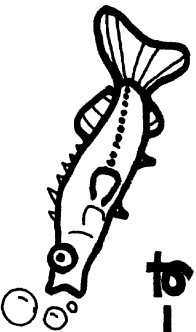


美川自然クラブ



でーす

H・17 2月号

「美川自然クラブ」は、美川町の清流・湧水のシンボルであるトミヨ（はりんこ）を保護し、美川町の身近な自然と手取川河口流域の生態系を守り、住み良く快適で明るい地域をつくるために行動することを目的とするボランティア団体です。

1/25 (火) 北国新聞の時間に

「北陸の一番寒い時期で 平野部にどか雪が降りやすいのが、目下の一月下旬から二月の上旬にかけての期間だが・・・」とありました。今月は「雪」について考えてみましょう。

雪の功罪

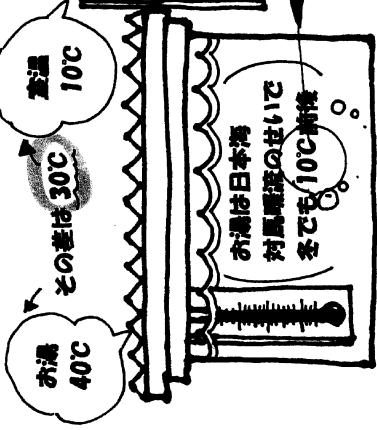
～「空の名前」高橋健司 写真・文
(光琳社出版) より～

雪が降ると・・・雪かきや雪下ろし、バス・電車が遅れ、山では雪崩など雪の中の生活はとてたいへんです。



雪は日本海の水が凍身したもの

お風呂場にたどえてみると・・・



お湯 40°C
その差は 30°C
気温 10°C

その差は 30°C

洗い場は日本海上空の寒気と考える
海面付近は氷点下 20°C前後



お風呂の7タをあけると、30°Cの温度差でモクモクと湯気がたつ。

これが雪雲のできるしくみ。

では、日本海がほかだったら？・・・

雪ができません

雪が降らない

寒気はそのままだ日本列島へ

気温はワラジオストックと同じくらい

(今より8°C位低くなる)

ザムイネ



雪が降って積もると

雪の下は0°C以下に冷えない

動物や植物が冬を越すことができる

雪解け水で農業、水力発電

「中谷宇吉郎雪の科学館」では雪の結晶を見ることができよ。

水曜日休館 ¥500